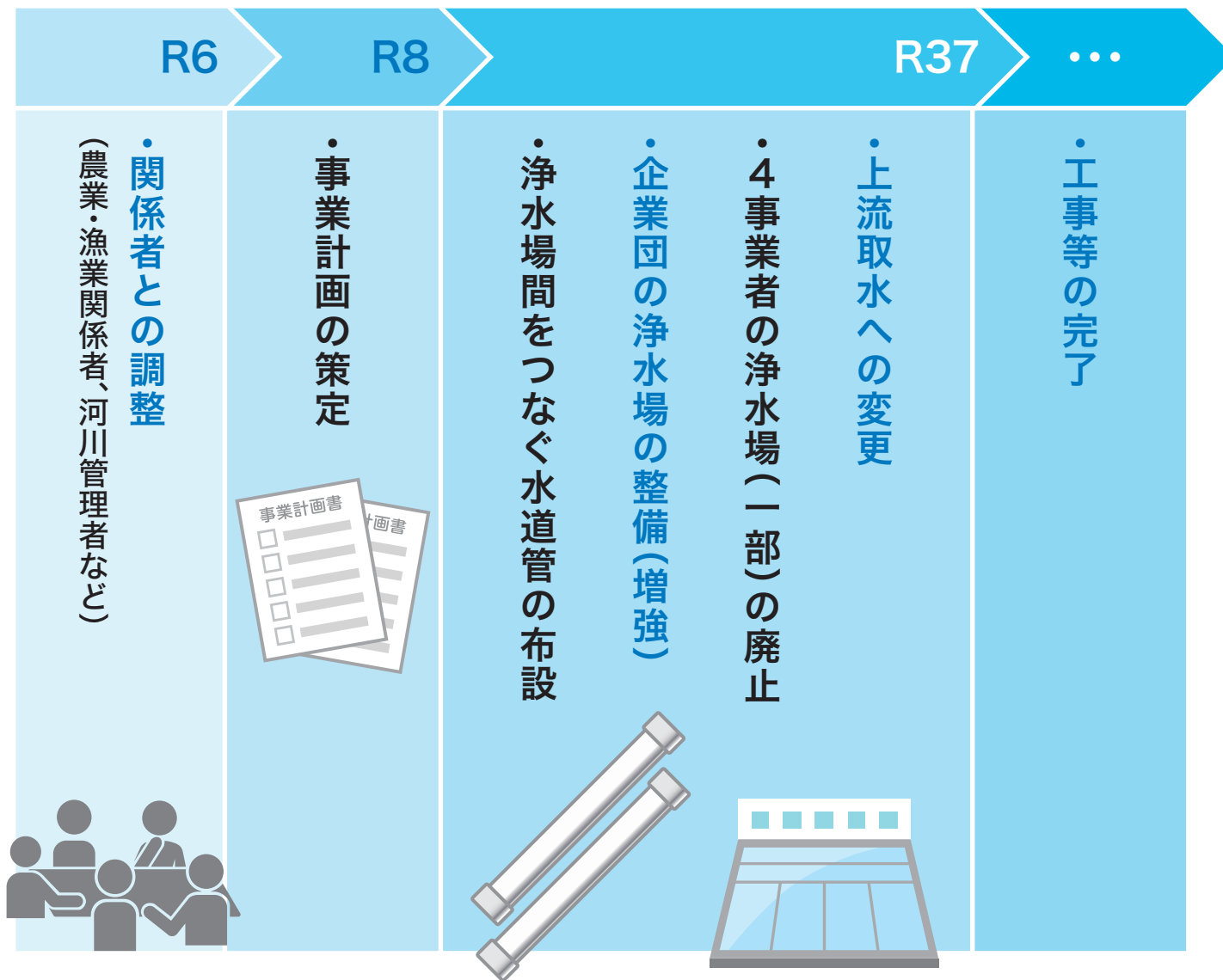


これからの取組



県民の「いのち」に直結する「水」を、
将来に向けて安定的に供給するため、
引き続き連携して取り組みます。

より詳しい情報は

下記URLまたは右の二次元バーコードからご覧いただけます。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/wp5/keikaku/5zigyou.html>



神奈川県

企業庁企業局水道部計画課 〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-210-7254(直通) FAX 045-201-3491



神奈川県企業庁

KANAGAWA

県営水道は 「広域連携」の力で 持続可能な水道を 目指します！



施設の共同化

「共同」で浄水場を整備し、

メンテナンス費のかかる古い浄水場を廃止します。

管理の一体化

川からの取水～浄水も「連携」して行い、

効率化・環境配慮を進めます。

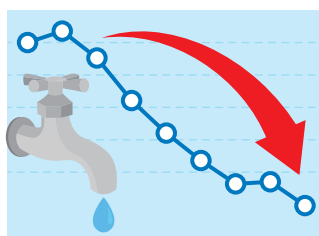
詳しくは
中面へ

県営水道が抱える課題

皆さまの生活に必要な「水道」。
蛇口をひねればいつでも水が出ますが、実は多くの課題を抱えています。



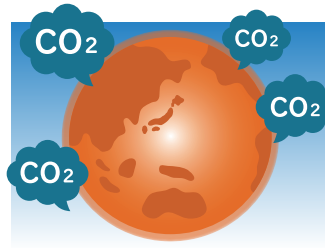
施設の老朽化



水需要の減少



災害の深刻化



地球温暖化

- 浄水場などの施設が**老朽化**すると、**故障**のリスクが高まります。
- 人口の減少などにより水需要が減ると、**ムダな施設**が出てきます。
- 地震**や**地球温暖化**によって**大型化する台風**などの被害が大きくなっており、**施設の故障や停電による断水**のリスクが高まっています。

もしかすると…

このまま課題を放置すると、最悪の場合、次のような事態に陥る可能性があります。



水が出なくなるかも？

浄水場が壊れたり、停電が発生すると、水が出なくなることも。
水が濁ったり、水圧が不安定になることも…



修理ができないかも？

使わない施設の維持管理費を払い続けると、**ムダな出費**が増えてしまう。
本当に必要なところにお金が使えないかも…



被災時に耐えられないかも？

避難場所にいつ水が来るのだろう、復旧のメドはどのくらい先なのだろう、
そんな不安がいつまで経っても解消されず避難生活が続くことに…

解決に向けた取組と効果

5事業者連携による効率的な施設整備

- 老朽化した浄水場を一部廃止し、**共同で※企業団の浄水場を整備**することで、**将来の水需要に見合った適切な規模**に作り変えます。

施設数を減らすことで**出費を抑え**、必要なタイミングで
修理や更新を行いながら、**施設を健全な状態に保ちます。**

※企業団は、各水道事業者へ水道水の供給(卸売り)を行っています。

- 電気を使うポンプの使用を抑えるため、**川の上流からの取水**にします。
- 災害時に、水が不足するエリアに**水を融通する仕組みを強化**します。

台風時などに、**停電による断水のリスクを軽減**します。

災害時においても、皆さまへ**水道水をお届け**します。

電気の消費を抑え、**CO2排出量の削減**にも貢献します。

県営水道独自の施設整備

- 地震発生時の断水被害をより少なく、復旧までの期間をより短くできるよう、
広域にまたがる基幹管路を優先的に整備・更新する「**戦略的管路整備**」に取り組みます。

いつでも**安定的に、そして、
環境にやさしい水道**をお届けします。